

年 組 名前：

「モノムス」早川に誘客

町舞台の漫画ファンが聖地巡礼



麓の直売所に設けられた「モノノケのムスメ」のブース＝早川町保

グッズ、パネルも人気

早川町が製作している町内を舞台にした漫画「モノノケのムスメ」（モノムス）をきっかけに町を訪れる観光客が増えている。漫画で町を知り「聖地巡礼」に訪れるファンも目立つ。漫画の連載は6月に終了したが、町は「今後も町の魅力を発信するためにさまざまなコンテンツを展開していきたい」としている。

〈斎藤君美〉

モノムスは、町を幅広い層にPR 伝える基にしたキャラクター「モノノケ」を、昨年4月から公式サイト「モノ」が登場し、県指定天然記念物などで連載を開始。町の伝承や言い の「湯島の大杉」や、国の重要伝統

的建造物群保存地区（重伝建）に選定されている「赤沢宿」などを舞台に物語を展開する。

町観光協会によると、2024年度に協会事務局がある南アルプスラザ総合案内所を訪れた観光客は、連載前の23年度と比べ15%増加。同協会の担当者は「モノムスで早川のことを知って訪れた人もいた」と話す。3月にはキャラクターをあしらったアクリルスタンドやクリアファイルなどのグッズ販売も開始。南アルプスラザでは、販売開始後すぐに、全種類を買い求めに訪れた町外のファンがいたという。

モノムス関連グッズなどを並べたブースを設ける「麓の直売所」（同町保）では、来訪者が自由に書き込めるノートを用意。モノムスを通じて町をもっと知ってもらいたいという思いから、4度目の聖地巡礼。これからの活躍を楽しみにしている「などファンによる書き込みがある。

月1〜2回ペースで続いた漫画の連載は全巻終了したが、現在も町内の宿泊施設や観光スポットなど12カ所に登場キャラクターのパネルが置いてあり、モノノケが町を紹介するフリーペーパー「広報モノノケ」を配布している。連載終了後も、スピンオフ作品の配信やフリーペーパー発行を続けていく予定。町の担当者は「モノムスで町の魅力を知ってもらい、足を運ぶきっかけになればうれしい」と話している。



(2025 年 7 月 15 日付 山梨日日新聞 18 面)

問1 はやかわちやうない ぶたい まんが こた 早川町内を舞台にした漫画のタイトルを教えてください。

.....

問2 まんが どうじやう ゆしま おおすぎ あかさわじゆく なに してい せんてい 漫画に登場する「湯島の大杉」と「赤沢宿」は、何に指定や選定されていますか。

・湯島の大杉：.....に指定

・赤沢宿：.....に選定

問3 はやかわちやう と く おこな もくてき こた 早川町が、この取り組みを行っている目的を教えてください。

.....